

Mifa

MIFA

MIFA NEWS



No. 54
11/30.2010

Moriya International Friendship Association

守谷市国際交流協会広報委員会発行

MIFA連絡先(守谷市国際交流協会担当)

所在地: 守谷市大柏950-1 電話: 0297-45-1111

URL: <http://www.fureai.or.jp/~mifa>



東アジア青少年大交流計画インド第5陣

2010年度(平成22年度)4月~10月の主な事業

- 4.18 世界を知るシリーズ第17回 オランダ王国大使館参事官講演会「オランダの農業・園芸、土地に依存し自然との共生」〔ログハウス〕
- 4.25 MIFA理事会〔市民活動支援センター〕
- 5.12~7.14 第46回日本語ボランティア講座〔ログハウス〕
- 5.15 日本語ボランティア講師勉強会〔ログハウス〕
- 5.22 日本語ボランティア講師勉強会〔ログハウス〕
- 5.30 Welcome to MIFA〔ログハウス〕
- 5.30 MIFA総会〔ログハウス〕
- 5.30 総会後ミニ・コンサート〔ログハウス〕
- 6. 5 「ようこそ守谷へ2010」〔市役所〕
- 6.12 “若葉マーク”のあなたのための英語でおしゃべりパート5〔ログハウス〕
- 6.23~7.2 21世紀東アジア青少年大交流計画インド第5陣受け入れ(守谷市滞在: 6.25~6.27)
 - 6.25 市長表敬・アサヒビール工場見学・対面式
 - 6.27 日本文化体験・歓送会

- 6.29 国際交流・国際協力ネットワーク会議参加〔水戸市〕
- 7. 7 外国人就労サポートセンター視察〔常総市〕
- 7.14 第46回日本語ボランティア講座修了式〔ログハウス〕
- 8.21・22 北守谷地区夏祭出店〔立沢公園〕
- 8.29 MIFAフェスタ2010〔ログハウス〕
- 9.22~12.1 第47回日本語ボランティア講座〔ログハウス〕
- 9.25 日本語ボランティア講師のための勉強会(1)〔ログハウス〕
- 9.25・26 第27回守谷市商工まつり(きらめき守谷夢彩都フェスタ)出展〔守谷駅西口広場〕
- 10. 2 日本語ボランティア講師のための勉強会(2)〔ログハウス〕
- 10.18 国際理解W.G. 放課後子ども教室「太平洋の国々」〔高野小学校〕
- 10.23 英語でおしゃべりパート6「どんな風かな? 宇宙での生活」〔ログハウス〕

東アジア青少年大交流計画

今回はインドからのお客さま



21世紀東アジア青少年大交流計画は、平成19年1月に開催された東アジア首脳会議において当時の安倍元首相が表明したもので、東アジア域内の相互理解を促進するために年間6,000人の青少年を5年にわたり日本に招待するものです。MIFAは、平成20年に中国高校生、21年にラオスの空手グループと民族舞踊団を受け入れ、各国、各団体との交流を深めてきました。

2010年度はJICEからの要請で、インド第5陣（大使館選考枠）を受け入れることになりました。この第5陣は別名を「日本語陣」といい、日本語弁論大会優秀者、エッセイコンテスト優秀者、中等教育での日本語成績優秀者など日本語学習経験者、また、日本や日本語に関心が高い人が多く選ばれています。年齢もこ

の陣は、上限が35歳までと若い人たちが選ばれています。来日した参加者は、大学生・社会人が70人、高校生が70人で、全体を6グループに分け、山形や京都、長崎へ行ったグループもあり、守谷市には大学生・社会人グループの25人が来市、日本や日本文化を楽しみました。ホームステイを受け入れた家庭は、ベジタリアンだったり宗教的な理由から食事に制約のある人が多かったため、食事にはかなり気を使ったようです。ただ、事前にJICEの担当者から「インド陣共通 ベジタリアンの食事」という、今まで来日した人たちの食事の好悪や制約の範囲など資料が渡され、それを参考に工夫していました。たとえば、「インド人は揚げ物が好き。ベジタリアンはカリフラワーの天麩羅にケチャップをつけて食べる。コロッケには卵の代わりに水溶き小麦粉を代用する。鰹だしを使っただし汁は食べられないので昆布だしを使う。歯が解けるほどの甘いお菓子が大好き。海藻は苦手」など、具体的な注意が書かれていて、とても参考になりました。

来日した訪問団の人たちもホームステイ家庭に馴染み、あこがれの日本を満喫したようです。



2010年度 MIFA総会



5月30日、2010年度守谷市国際交流協会総会がログハウスで行われました。

会長あいさつに続いて、来賓として出席いただいた橋本孝夫守谷市副市長のごあいさつがありました。その後、議事に入り、2009年度活動報告、2009年度決算報告及び監査意見書が承認されました。引き続き

2010年度事業計画、2010年度予算が可決されました。また、今年度は役員改選の年ではありませんが、青年交流委員長の交代に伴う理事の変更がありました。議事後、2010年度守谷市青少年海外派遣の中止、マインブルク市長来市について報告がありました。

総会の後、有富久美子さん、未来さんの母娘による「ピアノとお話のコンサート」～ピアノの調べ、パリに思いを馳せて～を楽しみました。副題は「音楽療法的コンサート」。これは音楽の持つリラクゼーション効果を使い、心の緊張やストレス解消を狙いとしたものです。参加した人たちは、19世紀から20世紀初頭のパリやイタリアに思いを馳せ、音楽の旅で異文化の非日常を味わいました。その後、交流会を行い、なごやかなひと時を過ごしました。

また、総会の前の時間を利用して、新しく入会した会員を対象に「Welcome to MIFA」が行なわれました。



MIFA フェスタ2010

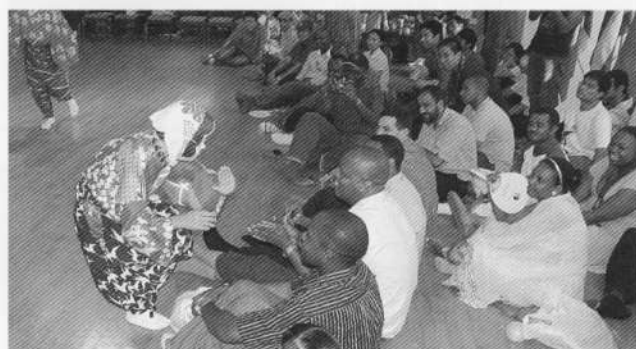


MIFAフェスタは、独立行政法人国際協力機構(JICA)筑波国際センターで日々研修を重ねている各国の研修生と守谷市国

際交流協会のメンバーなどが互いの文化を学び交流する場として毎年開催しています。

今年は8月29日に、ログハウスを会場に行われました。例年9月の最終日曜日に行っていましたが、今年は「きらめき守谷夢彩都」と日程が重なるため、ひと

月早く行ったものです。今年の異常な暑さの中、実行委員会の人たちはテント張りや準備などで大変な作業をこなしましたが、事故や怪我もなく無事に終了できてホッとしていました。参加したJICA研修員は20カ国、40人と最近では多いほうで、お茶、日本舞踊、書道、お箏、着物の着付け、折り紙を体験。一般参加の人を含め、皆さん、日本文化を楽しまれたようです。



夢彩都フェスタ



今年の「きらめき守谷夢彩都フェスタ」は、9月25日・26日の両日、「第27回守谷市商工まつり」に組み込まれて行われました。

前日の荒天で準備が進まず、初日も朝のうち雨が残り肌寒く感じましたが、二日目は好天に恵まれ人出も多くありました。

MIFAは、事業の紹介展示とバザー、ラオスの民芸品販売を行いました。バザーは会員にバザー用品の提供を呼びかけたこともあり品物が集まり、販売金額は4万円弱と昨年の倍近くになりました。この売り上げはすべてUNICEFに募金しました。この募金で、発展途上国の子どもたちに、はしかのワクチン1,800回分以上が接種できます。

ご協力ありがとうございました。



北守谷地区夏祭



8月21日・22日の二日間、北守谷地区夏祭に出店しました。

2010年度は青少年海外派遣が中止されたため、いつもお手伝いしてくれる

青年たちの参加が見込めないこともあり総務委員会が主体となって、ヨーヨー釣りとかき氷で参加しました。

今年の夏は異常気象ということで、猛暑が続いたためか例年以上に売り上げがあり、途中で何度も買い足しに行かなければならないほどでした。心配された手伝いも青年交流のメンバーが思った以上に手伝ってくれたおかげで、無事終了することができました。

収益は、青年交流委員会のメンバーがMIFA等が主催する海外スタディーツアーの参加する際の補助等に充てる予定です。

ようこそ守谷へ



「ようこそ守谷へ」は守谷へ転入された方を歓迎するイベントで、今年で14回目になります。過去1年の間に市民になられた方々に守谷を知っていただき、市民と交流していただく場です。市民ボランティア、協賛企業、団体、守谷高校吹奏楽部などの協力の下に成り立っています。

今年は市役所を会場に6月5日に行われました。MIFAは活動状況などを紹介するパネルを展示して新規会員の募集を行い、2人の申し込みがありました。

チューリップの花咲く頃に オランダ王国大使館参事官講演会



4月18日、ログハウスでオランダ王国大使館参事官の講演会が行われました。参加者は66人で、会員以外の参加者が36人と過半数を占めました。

講師をお願いしたカーラさんは、ライデン大学日本

語学科を卒業し、ハーグの日本大使館にも勤務していた方で、現在、オランダ大使館農業・自然・食品安全担当参事官です。

ちょうどチューリップの咲く季節の講演会で、プレゼンテーションではスライドを多用し、農業の話だけでなく、オランダ全般の紹介もしていただきました。事前に政府観光局からパンフレットを取り寄せていましたが、参事官が日蘭国交400周年記念冊子やピンバッジを持参してくださり、あわせて配布することができ、参加した人からは大変喜ばれました。

残念だったのは学生など若い人たちの参加が少なかったこと。こういう話を若い人たちに聞いてもらえたらと思いました。



英語でおしゃべり パート5



6月12日、ログハウスで、「若葉マーク」のあなたのための「英語でおしゃべりパート5」が行われ、30人の参加がありました。

全員で早口言葉や自己紹介を兼ねて移動していくゲームや歌、ジェスチャーゲーム、そしてアメリカとオーストラリアのお国紹介を行いました。初めて参加した人たちからも一様に「楽しかった」という感想が寄せられています。

今回は「若葉マーク」ということで、司会も日本語・英語の両方で行いました。日本語を入れることには委員の間でも意見が分かれるところですが、次回はレベルを限定せず英語のみで考え、話す場として行いたいと考えています。

外国人のための

日本語講座



5月12日に始まった「第46回外国人のためのボランティア日本語講座」。その最終回が7月14日に、ログハウスで行なわれました。この日は受講生による日本語の発表会があるので、受講生はもちろん講師も少し緊張気味です。発表会のあとは、講座に8回以上参加した17人に山田副会長から修了証の授与があり、代表者が受け取りました。

今回の受講者の国籍は、オーストラリア、ブラジル、中国、タイ、台湾、韓国、アメリカ、フィリピン、インドネシアの9カ国でした。滞在期間の長い人も短い人もおり、国籍もまちまち。受講生と講師をコーディネートすることも一苦労です。しかし、発表会、修了式のときの受講生の誇らしげな顔を見ると、そんな苦労もわすれてしまいます。

最後は打ち上げパーティで締めくくり、次回（9月22日から）の再会を約束していました。